

- デジタルカメラ 3 次元計測システム PIXXIS -

NETIS「平成 24 年度活用促進技術」指定のお知らせ

当社が販売するデジタルカメラ 3 次元計測システム PIXXIS（ピクシス）が、NETIS（国土交通省新技術情報提供システム）の「平成 24 年度活用促進技術」に指定されましたのでお知らせいたします。

「活用促進技術」は、NETIS 登録技術のうち事後評価が行われた技術の中から、
・ 特定の性能又は機能が著しく優れている技術、
・ 特定の地域のみで普及しており全国的に普及することが有益と判断される技術
に対して指定を受け、「有用な新技術」のひとつに分類されます。

■ 有用な新技術

NETIS 申請情報約 4,000 件のうち「有用な新技術」数は下表のとおり。（平成 23 年 12 月現在）

分類名称	指定数
推奨技術	6 件
準推奨技術	20 件
<u>活用促進技術</u>	34 件
設計比較対象技術	139 件
少実績優良技術	65 件

活用促進技術に指定された技術を、地方整備局発注工事の現場で活用した場合、**工事成績評定で 4 点加算**されるなどのインセンティブが付与されます。

詳細は各地方整備局にお問合せ下さい。

■ PIXXIS とは

市販のデジタルカメラで撮影された複数枚の画像から、対象部材に貼付けたターゲット位置の 3 次元座標を求めるもので、出来形計測（製品検査）のみならず、架設現場での現地実測、増改築工事など幅広い場面（別紙参照）で、コスト削減、工期短縮に貢献する高精度 3 次元計測システムです。

■ NETIS 登録内容

登録番号：KT-070053-V

名 称：デジタルカメラ三次元計測システム PIXXIS

副 題：土木・鋼構造物向け高精度三次元デジタルカメラ計測システム

工 種：調査試験 - 測量 - 写真測量 / 橋梁上部工 - 鋼橋製作工 / 建築 - 鉄骨工事

■ NETIS とは

民間企業等が開発した新技術に関する情報を、共有・提供するためのデータベースであり、国土交通省が運営している新技術情報提供システムのことです。

■ 検索方法

以下の URL より、新技術の検索画面にてキーワード「PIXXIS」を入力して検索してください。

国土交通省 NETIS 新技術情報提供システム URL <http://www.netis.mlit.go.jp>

震災復旧・復興の現場における新技術活用を支援するサイトにも登録されています。

NETIS 震災復旧・復興支援サイト URL <http://www.s-netis.mlit.go.jp/>

以上

別紙：PIXXIS を利用した計測事例

(1) 工場製品の出来形計測

工場製品（鋼構造物、導水管、プレキャスト部材など）の出来形計測を行う。

（事例 1）鋼桁ブロックの出来形計測（鈑桁、箱桁、橋脚、アーチ部材など）

（事例 2）製作管の 3 次元出来形計測（フランジ角度など）

（事例 3）PC セグメント部材の出来形計測

（事例 1）



（事例 2）



（事例 3）



(2) 架設・補修・改修工事の現場実測

現地実測の結果をもとに、取り合う部材の設計図面に実測反映する。

（事例 4）先行架設済み橋脚の剛結部 3 次元寸法計測 （新設桁とのシミュレーション）

（事例 5）コンクリート打設現場の断面形状計測

（事例 6）拡幅工事における既設桁の仕口部の実測 （SPL 孔明けデータへの反映）

（事例 7）落橋防止装置（耐震補強）の下部工アンカーボルト寸法の実測 （ベース PL への反映）

（事例 8）既設橋脚一体化工事における既設鉄筋の実測 （新規鉄筋加工図への反映）

（事例 9）橋梁補修における既設桁の実測 （補強部材加工図への反映）

（事例 4）



（事例 5）



（事例 6）



（事例 7）



（事例 8）

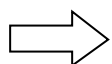


(3) プラント、造船などの既存部材実測

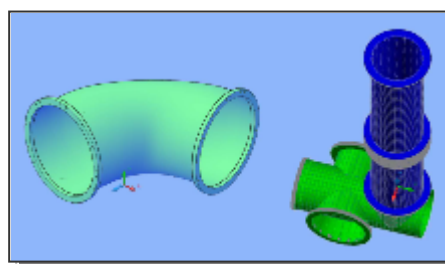
既存部材の補修や取替え工事において、事前計測を行うことで現場合せによる部材ロスを最小化する。

(事例 10) プラント設備や船内、発電所において老朽化した配管の取替え部材を実測

(事例 10)



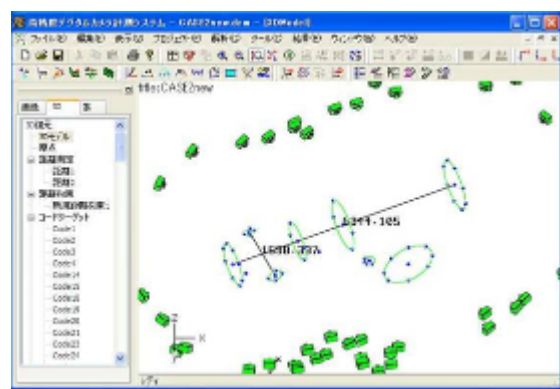
計測データより
加工データを出力



使用機材



画像処理画面



導入をご検討のお客様、従来のテープ計測や型合わせ作業に変わる計測をご検討のお客様に、経験豊富な当社技術者がご相談を承ります。また受託計測サービスについても承りますので、営業担当者までお問合せ下さい。

以上